

真実の法統愛継がれる聖地に 慶讃会法要・行事 盛儀に厳修



浄苑創建五〇年・親鸞聖人御生誕八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃会法要・行事が秋の三連休、10月7日(土)～9日(月・祝)に行われました。

この半世紀に一度の慶事となる法要・行事に、全国から123人の僧侶が参集。庭儀

には100人を超える稚児が参加しました。

慶讃会期間中、延べ3,000人を超える参詣者を迎え、盛大に法要・行事が厳修され、僧俗ともにこの法会を慶びました。

←厳かな法要、稚児行列ほか、行事の様子。



東山浄苑報

題 本願寺連枝
字 霊眞院釋尼妙観

「本願寺春秋」は今号より「東山浄苑報」と名称変更となりました。

東山浄苑報 第1号
令和6年1月1日刊

京都市山科区上花山旭山町8-1

東山浄苑東本願寺

TEL 075-541-8391(代)

FAX 075-531-1663

発行責任者

東山浄苑報編集委員

財団五十年の歩み

大正元年 (一九一二年)	東本願寺第二十三世彰如上人を設立者・総裁として、「勸学布教・学事の振興」を目的に一般財団法人本願寺文化興隆財団創設。
昭和四十六年 (一九七一年)	本願寺と真宗大谷派からの哀訴哀願を受け、台下、六條山墓地建設の施主を財団に決定。
昭和四十七年 (一九七二年)	六條山納骨堂を「東山浄苑東本願寺」と命名。
昭和四十八年 (一九七三年)	常楽堂、六角堂、落慶法要厳修。
平成六年 (一九九四年)	ノンフィクション文学賞「蓮如賞」、フィクション文学賞「親鸞賞」創設(平成十一年)。
平成十年 (一九九八年)	吉崎御坊蓮如上人記念館(福井県認定博物館)開館。
平成十一年 (一九九九年)	嘉枝堂落慶法要厳修。
平成十三年 (二〇〇一年)	スリランカ世界遺産・佛歯寺より、真正佛舍利を贈られる。
平成二十三年 (二〇一一年)	総門竣工。
平成二十四年 (二〇一二年)	スリランカ国際仏教博物館日本館開館(日本国外務省の依頼)。
平成二十四年 (二〇一二年)	財団創立一〇〇周年・浄苑創建四〇年・親鸞聖人七五〇回御遠忌、シンポジウム、特別展開催。
平成二十五年 (二〇一三年)	教如上人四〇〇回忌法要厳修。
平成二十六年 (二〇一四年)	親鸞聖人御真影を嘉枝堂本堂に奉安。
平成二十九年 (二〇一七年)	嘉枝堂本堂に我国初のガンダーラ様式の本尊阿彌陀如来立像を安置。
令和二年 (二〇二〇年)	台下を会長に「ジャポニスム振興会」発足。
令和二年 (二〇二〇年)	鐘樓堂落慶法要厳修。
令和四年 (二〇二二年)	台下へスリランカよりグレート・サーサナ・ラトナ勲章叙勲。
令和五年 (二〇二三年)	信楽壇誕生。 (詳しくは3頁もご覧ください) 台下へフランスよりレジオン・ドヌール勲章オフィシエ叙勲。
令和五年 (二〇二三年)	浄苑創建五〇年・親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年・慶讃会法要厳修。

- 慶讃会のご紹介
- 財団の活動紹介
- 春彼岸会・花まつりのご案内
- 孟蘭盆会のご案内

- 1ページ
- 1ページ
- 2ページ
- 3ページ

- 信楽壇のご案内
- 東山浄苑読経お扱いのご案内
- ご葬儀・ご自宅等での法要のご案内
- 無料送迎バスのご案内

財団の活動

当財団理事長の妙案で 記念館が道の駅へ

浄土真宗開立の祖・蓮如上人によって創建された我が国初の寺内町・吉崎御坊(福井県あわら市)がある吉崎は蓮如忌等への参詣で北陸随一の賑わいを見せていたが、近年過疎化により衰退の一途を辿っていました。その打開策として吉崎への「道の駅」誘致と言う大谷暢順当財団理事長の妙案に、福井県とあわら市が応じて本年4月22日、同市初の道の駅が誕生しました。

これに伴い記念館では館内施設の自然館と七不思議堂の庭園化、鳳凰閣への京都の人気店「エクスカフェ」北陸初出店を実施。オホツクのクリオネや流水の常設展示、徳島人形浄瑠璃の公演と展示、京都の工芸展「大坂を創った蓮如さん」展等の企画展のほか、箏曲家である大谷祥子記念館館長等による「春を告げる邦楽コンサート」も行いました。

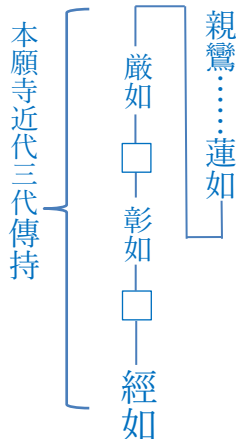
また、観光庁の補助金を得て、令和6年2月末までに当財団理事長作庭の「五重ノ義」園を改修します。

道の駅は県内最高となる開業6カ月間で30万人が来訪、駐車場を増設する等の賑わいを見せています。

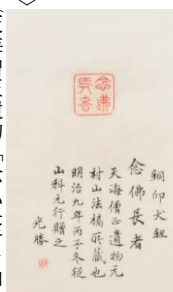


企画展が目白押し
蓮如上人記念館

【歴代上人略系図】



〈厳如上人画「桃下遊鳩図」〉



〈天台僧正遺物「念仏長者」印〉

【お問い合わせ】
秘書室 TEL075-551-3007
公式ホームページ
他にも多くの書籍を
ご紹介しています

